



▲多くの人でにぎわう“あかねタイ釣り大会”



▶表彰を受ける鍛柄さん

冬の名物イベントを楽しむ

牛深あかね市・牛深海中公園マラソン大会

11月30・12月1日、「第24回牛深あかね市」が牛深ハイヤ大橋横の芝生広場を主会場に開催されました。会場では、牛深の海産物や農産物を販売する“いきいきマーケット即売会”や“あかねタイ釣り大会”などが行われ、約2万5,000人の人出でにぎわいました。また、1日には「第40回牛深海中公園マラソン大会」が実施され、牛深グラウンド前をスタート・フィニッシュとする5・10kmコースに県内外から約600人が参加。参加者はさわやかな風を感じながら気持ちよさそうに走っていました。

今回、同大会に40回連続で出場された鍛柄新介さん（牛深町）に、その功績をたたえ表彰状が贈られました。

冬の夜道を照らす光

栖本地区のイルミネーション

12月8日、栖本町の国道266号沿いの「じゅうえん公園」でイルミネーションの飾り付けが行われました。栖本地区振興会が、地元の風物詩にするとともに、道行く人たちの安全を守るために毎年実施しているものです。

この日は、同地区振興会産業部会員11人が約5,000個の電球を、配置や色のバランスに気を配りながら飾り付けていました。同公園のイルミネーションは、1月4日㊥までの午後5時から同10時まで、楽しむことができます。



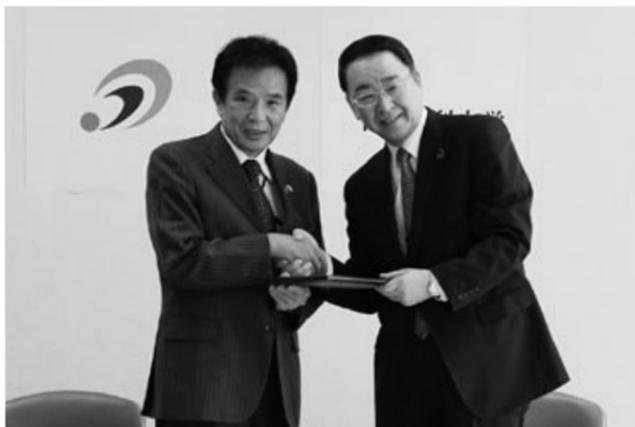
▲公園に飾られたイルミネーション

医療・福祉の課題解決に期待

自治医科大学と包括協定を締結

市と自治医科大学（栃木県）は12月7日、連携協力に関する包括協定を締結しました。同大学が自治体と包括協定を結ぶのは全国初。この日は、市役所で調印式が開かれ、同大学地域医療学センターの梶井英治・センター長と安田市長が協定書を取り交わしました。

安田市長は、「市が抱える医療・福祉の課題解決に向けて期待しています」と述べました。今回の協定締結により、同大学が開発した情報技術を使い、高齢者の見守りに関する実証実験などが行われる予定です。



▲協定書に調印後、握手を交わす自治医科大学地域医療学センターの梶井英治・センター長(右)と安田市長

家族の絆を大切に

社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会

11月30日、「第63回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会」が、天草市民センターホールで開かれ、約630人が来場しました。同運動を啓発する作文・標語入賞者の表彰や、佐伊津小学校・城河原地域づくり振興会による事例発表のほか、戦場カメラマンの渡部陽一さんが「家族の絆～世界100カ国以上の家族と過ごした時間～」と題して講演。戦場でも笑顔や愛であふれている家族と出会った体験を通して、「どんなに厳しい状況でも家族の絆を大切にしてほしい」などと身ぶり手ぶりを加えながら独特な口調で話され、来場者は熱心に聞き入っていました。



▲「これからも写真を撮り続けていきたい」と話す渡部さん



◀事例発表ですもうをとる佐伊津小学校の児童



▲山頂での記念の1枚

心地よい風を感じながらウォーキングを満喫

頭岳登山ウォークラリー

12月8日、河浦町新合にある頭岳（標高466m）の山頂をめぐす「頭岳登山ウォークラリー」が開かれ、地域住民約70人が参加しました。新合地区振興会が、地域住民の健康づくりを目的に初めて開催したもので、同地区コミュニティセンターをスタート・ゴールとする約7kmのコースで実施。天候に恵まれ心地よい風が吹く中、参加者たちは道中のクイズに答えながら、思いおもいのペースでウォーキングを満喫。山頂ではすばらしい景色を堪能するなど楽しいひとときを過ごしていました。

倉岳の観光ツアーの商品化へ向けて

観光ビジネス研修会

倉岳まちづくり協議会は12月9日、倉岳の観光ツアーの商品化を目指そうと「観光ビジネス研修会」を倉岳多目的研修集会施設で開催し、同協議会や地元の観光協会の会員など約40人が参加しました。東海大学（熊本市）の小林寛子教授が“グリーンツーリズムにおけるツアーの商品化”と題して講演。「持続性があるものをつくるのが大事」などと話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演を行う小林教授